

生きていける賃金を出せ！ 希望者を全員、正社員にしろ！

CTS 職場ニュース

動労千葉（国鉄千葉動力車労働組合）

2021年9月17日

清掃の
夜勤削減

社員説明会が大モメ

「こんな提案はいったん撤回すべきだ！」

●主任・班長、全員が「やれない」！

月曜から3日間の社員説明会を経て、16日夕方に10月以降の「作業体制の変更」について社員説明会が開かれた。吊り手消毒作業の1人削減（4人→3人）についても多くの意見が出され、次に夜勤削減問題に移った。

主任・班長会議で、誰もが「この体制では回り切れない」と反対したのに小高副所長は同じ案で押し切ろうと説明を始めた。

「3日間の主任班長会議で、この体制でやれると言った人はいたのか」（→「誰もいません」）、「手直しして出すと思っていたが、そのまま出してくるとはどういうことか」と不誠実な態度に次々と声があがった。

さらに、「そもそも誰が案を作ったのか」「3人削減できる根拠は」「構内日常をなくして1班体制で行けるという根拠は」（→「作業時間の積算で、できると判断した」）「第2基地に入区することは想定されているのか」「第2基地までの徒歩時間は何か」（→答えられず）、「できるというなら管理者を14人集めてやってみろよ」「そもそも直前にこんな案をだしてくるのがおかしい。一か月、二か月と議論しなければできないわけない」と次々とあがる疑問・意見に何一つ答えられない状態になった。

現場になんの相談もせず、管理者側が勝手につくった体制案が、何の現実性もないものであることが明らかになった。

●小高副所長が、原案を否定??

そのうち、なんと小高副所長は「（14人から）3人を抜いて日常班を作らないと回れないという意見も出ている」と、提案している原案を否定する説明を始めた。

「なんだそれは」「誰と誰を抜くのか」「だったら、いったん撤回すべき」「社員説明をする段階になってない」「主任・班長会議からやりなおせ」「明日からの社員説明も同じ資料でやるのか」と、さらに意見が噴出した。

出席した本社の橋本クリーン部長は「体制案は再検討する。おもて面の『作業体制の変更』については社員説明を続けさせてほしい」と発言したが、それに対しても「前提が崩れている。体制も決めないで『とにかく3人削る』では通らない。体制を見直すなら、人数も白紙に戻すのが筋だ。」と意見が出され、大モメのうちに社員説明会は終了した。

●夜勤削減は白紙撤回しかない！

ぎりぎりの体制での夜間作業はケガのもとだ。さまざまな失敗も不可避だ。豪雨での遅延、座席濡れ、人身事故、臨入・特発、臨時便の増発など少しでも何かあれば、たちまち超勤になる。さらに声をあげ、現場の実態を無視した3人削減案を撤回に追い込もう！

今こそ職場に闘う労働組合が必要な時だ。CTSのすべての仲間は、動労千葉に加入し、ともに闘おう。

今こそ闘う労働組合が必要だ！ 動労千葉に加入し共に闘おう